



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月14日

上場会社名 株式会社中央製作所 上場取引所 名
コード番号 6846 URL <https://www.chuo-seisakusho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 服部 光生 TEL 052-821-6166
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
配当支払開始予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,889	25.2	235	72.2	245	70.5	221	21.8
2024年3月期	3,904	24.9	136	—	143	—	181	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	286.28	—	9.7	4.9	4.8
2024年3月期	235.01	—	8.7	3.1	3.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	5,009	2,356	47.0	3,049.95
2024年3月期	5,013	2,200	43.9	2,847.88

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,356百万円 2024年3月期 2,200百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	530	△203	△26	1,366
2024年3月期	8	117	△40	1,065

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	27	14.9	1.3
2025年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00	32	14.7	1.4
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		21.5	

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	△12.1	20	△56.6	20	△61.5	15	△80.9	19.41
通 期	3,700	△24.3	105	△55.5	100	△59.2	90	△59.3	116.48

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	784,300株	2024年3月期	784,300株
② 期末自己株式数	2025年3月期	11,603株	2024年3月期	11,565株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	772,705株	2024年3月期	772,785株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、期の前半はインバウンド需要や企業収益の改善を背景とした雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、一部自動車メーカーにおいて品質不正問題が発覚し、生産・出荷停止が行われることとなり、関連する業種を含めた国内景気への悪影響が心配される状況にありました。

一方、期の後半は、米国トランプ大統領の誕生による経済・外交政策や、それを受けた世界経済の行方によっては国内景気の下振れリスクも想定され、先行きに対する不透明感が増大しました。

こうした状況の中で、当社は顧客のニーズに対する確な提案営業を行い、受注の確保に努めるとともに、製品系列別強化会議等でのコストや進捗の管理、部材や購入品などのコストアップ要因を適切に価格に反映させる取組みを推進してまいりました。しかしながら、受注面においては、自動車関連業界の設備投資に対する慎重な姿勢が影響を及ぼしました。

その結果、当事業年度の受注高は4,151百万円（前年同期比14.5%減）、売上高は4,889百万円（前年同期比25.2%増）となりました。損益については、営業利益235百万円（前年同期比72.2%増）、経常利益245百万円（前年同期比70.5%増）、当期純利益221百万円（前年同期比21.8%増）の計上となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

（電源機器）

電源機器につきましては、電池業界及び金属表面処理業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることで受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は1,268百万円（前年同期比12.4%減）、売上高は1,424百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与する高効率電源など、製品の更なる改良を進めるとともに小型電源の拡販に力を入れ、受注・売上の確保に努めてまいります。

（表面処理装置）

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、半導体関連業界、建設機械業界などを中心に、新規・更新需要及び既存装置の改修需要に注力して活動をしてまいりました。その結果、受注高は1,818百万円（前年同期比27.7%減）、売上高は2,485百万円（前年同期比66.5%増）となりました。

今後につきましては、引続き新規・更新提案及びIoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M（当社製品名）の提案や既存装置の改修提案により、受注・売上の確保に努めてまいります。

（電気溶接機）

電気溶接機につきましては、自動車関連業界、鉄鋼業界、建築資材関連などを中心に、新規及び更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は659百万円（前年同期比8.7%増）、売上高は656百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

今後につきましては、新機能を搭載した溶接制御装置であるCK5（当社製品名）の市場投入により、更なる受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて3.3%減少し3,750百万円となりました。これは、主として受取手形が121百万円、前渡金が105百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて10.9%増加し1,259百万円となりました。これは、主として建設仮勘定が248百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて0.1%減少し5,009百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて5.8%減少し2,293百万円となりました。これは、主として電子記録債務が177百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて4.6%減少し359百万円となりました。これは、主として資産除去債務が24百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて5.7%減少し2,653百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて7.1%増加し2,356百万円となりました。これは、主として利益剰余金が194百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は期首時点に比べて300百万円増加し1,366百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、収入は530百万円（前年同期は収入8百万円）となりました。

収入の主な内訳は、税引前当期純利益282百万円、売上債権の減少額251百万円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額208百万円などによるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出は203百万円（前年同期は収入117百万円）となりました。

収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入42百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出244百万円によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は26百万円（前年同期は支出40百万円）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額26百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 (%)	43.9	47.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	16.7	18.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	84.9	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.5	69.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

2 キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

3 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4 算出の結果、数値がマイナスの場合は「－」で表記しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済は米国トランプ大統領による関税政策および長期化する世界各地での紛争により下振れリスクも想定される不透明な状況が見込まれます。

国内経済では、政府主導による経済政策により所得環境が改善、また円安に伴う海外からの観光客のインバウンド需要で観光業を中心に回復基調は続いていくものと見込まれます。一方で米国関税引き上げに伴って鉄・アルミや自動車関連企業をはじめとした製造業における市場の不透明さにより設備投資に対する慎重姿勢が強まることが懸念されます。

しかしながら、このような経済環境の中でも、労働人口減少で人手不足が叫ばれ、生産性改善に向けた省人化投資が見込まれるほか、デジタル化投資、カーボンニュートラルの実現に向けた設備更新など、国内製造業の設備投資は一定の割合で需要はあると見込めます。

当社の次期の見通しとしましては、厳しい受注環境が予想される中で期内受注、売上案件の掘り起こしに注力するとともに、大型案件の収益を悪化させない取組みを実施してまいります。また中期的には既存製品を成長製品に進化させる取組みや将来の糧となる新ビジネスの開拓などを今後の重要課題と捉えて取組んでまいります。

以上のことを踏まえ、次期の業績予想につきましては、売上高3,700百万円、営業利益105百万円、経常利益100百万円、当期純利益90百万円を見込んでおります。また、株主への利益還元につきましては、経営上の重要な政策の一つと位置付けており、経営体質の強化と今後の事業展開などを勘案し、内部留保にも意を用いつつ、安定的且つ、継続的な配当を実施していくことを基本方針としてきております。こうした基本方針を踏まえ、次期の剰余金の配当につきましては1株につき25円とする予定であります。

なお、上記の業績予想及び剰余金の配当予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,065,391	1,366,109
受取手形	177,688	56,289
電子記録債権	592,702	551,279
売掛金	657,824	568,926
商品及び製品	198,505	125,067
仕掛品	869,193	914,665
原材料及び貯蔵品	195,780	154,621
前渡金	105,000	-
前払費用	1,746	2,149
その他	14,471	13,458
貸倒引当金	△300	△1,800
流動資産合計	3,878,003	3,750,767
固定資産		
有形固定資産		
建物	839,151	818,860
減価償却累計額	△737,530	△731,283
建物（純額）	101,621	87,577
構築物	46,922	41,681
減価償却累計額	△43,381	△38,779
構築物（純額）	3,540	2,902
機械及び装置	183,517	180,344
減価償却累計額	△163,421	△164,165
機械及び装置（純額）	20,096	16,178
車両運搬具	17,760	17,666
減価償却累計額	△16,018	△15,792
車両運搬具（純額）	1,742	1,873
工具、器具及び備品	335,329	331,141
減価償却累計額	△317,029	△309,219
工具、器具及び備品（純額）	18,300	21,922
土地	108,730	108,730
建設仮勘定	34,838	283,221
有形固定資産合計	288,871	522,405
無形固定資産		
ソフトウェア	34,903	16,619
電話加入権	2,990	2,990
無形固定資産合計	37,893	19,609
投資その他の資産		
投資有価証券	366,982	317,921
破産更生債権等	687	6,410
長期前払費用	1,440	805
前払年金費用	273,194	235,711
その他	166,740	162,628
貸倒引当金	△687	△6,410
投資その他の資産合計	808,358	717,066
固定資産合計	1,135,122	1,259,081
資産合計	5,013,126	5,009,849

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	62,320	48,944
電子記録債務	536,329	358,921
買掛金	165,616	147,721
短期借入金	740,000	740,000
未払金	273	22
未払費用	248,976	288,065
未払法人税等	20,659	53,334
契約負債	555,272	513,411
預り金	6,583	6,774
製品保証引当金	37,700	21,579
その他	61,335	114,453
流動負債合計	2,435,065	2,293,228
固定負債		
繰延税金負債	76,981	82,316
退職給付引当金	197,394	199,573
資産除去債務	27,288	2,298
その他	75,743	75,743
固定負債合計	377,407	359,932
負債合計	2,812,473	2,653,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金		
資本準備金	225,585	225,585
資本剰余金合計	225,585	225,585
利益剰余金		
利益準備金	112,229	112,229
その他利益剰余金		
特別積立金	450,000	450,000
繰越利益剰余金	720,026	914,187
利益剰余金合計	1,282,255	1,476,417
自己株式	△17,025	△17,076
株主資本合計	1,993,815	2,187,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	206,837	168,761
評価・換算差額等合計	206,837	168,761
純資産合計	2,200,652	2,356,687
負債純資産合計	5,013,126	5,009,849

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,904,130	4,889,254
売上原価		
製品期首棚卸高	99,818	198,505
当期製品製造原価	3,046,599	3,578,761
合計	3,146,417	3,777,266
製品期末棚卸高	198,505	125,067
売上原価合計	2,947,912	3,652,199
売上総利益	956,217	1,237,054
販売費及び一般管理費	819,312	1,001,250
営業利益	136,905	235,804
営業外収益		
受取利息	3	17
受取配当金	5,835	9,155
保険配当金	1,943	2,235
スクラップ売却益	1,988	3,339
補助金収入	1,628	-
その他	1,791	2,297
営業外収益合計	13,190	17,045
営業外費用		
支払利息	5,960	7,612
為替差損	259	0
その他	3	-
営業外費用合計	6,223	7,612
経常利益	143,872	245,237
特別利益		
固定資産売却益	3,799	-
投資有価証券売却益	-	38,394
特別利益合計	3,799	38,394
特別損失		
固定資産処分損	149	986
特別損失合計	149	986
税引前当期純利益	147,523	282,645
法人税、住民税及び事業税	11,655	48,914
法人税等調整額	△45,741	12,523
法人税等合計	△34,085	61,438
当期純利益	181,609	221,207

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						特別積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	503,000	225,585	—	225,585	112,229	450,000	538,416	1,100,646	△16,881	1,812,350
当期変動額										
剰余金の配当							—	—		—
当期純利益							181,609	181,609		181,609
自己株式の取得									△143	△143
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	181,609	181,609	△143	181,465
当期末残高	503,000	225,585	—	225,585	112,229	450,000	720,026	1,282,255	△17,025	1,993,815

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	138,624	138,624	1,950,975
当期変動額			
剰余金の配当			—
当期純利益			181,609
自己株式の取得			△143
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	68,212	68,212	68,212
当期変動額合計	68,212	68,212	249,677
当期末残高	206,837	206,837	2,200,652

当事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余 金合計		
						特別 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	503, 000	225, 585	—	225, 585	112, 229	450, 000	720, 026	1, 282, 255	△17, 025	1, 993, 815
当期変動額										
剰余金の配当							△27, 045	△27, 045		△27, 045
当期純利益							221, 207	221, 207		221, 207
自己株式の取得									△50	△50
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	194, 161	194, 161	△50	194, 110
当期末残高	503, 000	225, 585	—	225, 585	112, 229	450, 000	914, 187	1, 476, 417	△17, 076	2, 187, 926

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	206,837	206,837	2,200,652
当期変動額			
剰余金の配当			△27,045
当期純利益			221,207
自己株式の取得			△50
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）	△38,075	△38,075	△38,075
当期変動額合計	△38,075	△38,075	156,034
当期末残高	168,761	168,761	2,356,687

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	147,523	282,645
減価償却費	48,595	51,456
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△248	7,223
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△41,210	2,179
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	21,162	△16,120
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△106,467	37,483
受取利息及び受取配当金	△5,838	△9,172
支払利息	5,960	7,612
固定資産処分損益 (△は益)	△3,650	986
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△38,394
売上債権の増減額 (△は増加)	△260,852	251,720
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△252,006	69,124
仕入債務の増減額 (△は減少)	135,092	△208,679
契約負債の増減額 (△は減少)	270,513	△41,860
その他	53,079	150,843
小計	11,651	547,049
利息及び配当金の受取額	5,838	9,172
利息の支払額	△6,004	△7,903
法人税等の支払額	△2,772	△17,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,713	530,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	150,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	42,512
投資有価証券の取得による支出	△297	△322
有形固定資産の売却による収入	4,375	-
有形固定資産の取得による支出	△35,434	△244,890
無形固定資産の取得による支出	△690	-
その他	△186	△319
投資活動によるキャッシュ・フロー	117,767	△203,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40,000	-
自己株式の取得による支出	△143	△50
配当金の支払額	△5	△26,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,149	△26,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,330	300,717
現金及び現金同等物の期首残高	979,060	1,065,391
現金及び現金同等物の期末残高	1,065,391	1,366,109

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している関連会社は、利益基準及び利益剰余金基準において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業・技術・製造の各部門ごとにそれぞれ製品群別の担当課を配置し、各部門の担当課の連携で、取扱う製品に対する国内及び海外の包括的な戦略を立案し、製品系列別強化会議などを通じて、事業活動を展開しております。

従って、当社は取扱う製品群別に構成する担当課の組織体制を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「電源機器」、「表面処理装置」、「電気溶接機」の3つを報告セグメントとしております。

「電源機器」は、表面処理に用途の多い直流電源装置をはじめ、各種電源装置などの製造販売をしております。

「表面処理装置」は、キャリア式やエレベータ式の全自動表面処理装置をはじめ、顧客のニーズに対応した表面処理装置の製造販売をしております。「電気溶接機」は、汎用型の電気抵抗溶接機をはじめ、コンデンサスポット溶接機・直流型スポット溶接機・NC付きマルチスポット溶接機及びそれらの制御装置などの製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表計 上額 (注3)
	電源機器	表面処理装 置	電気溶接機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,388,441	1,492,946	574,075	3,455,463	448,666	3,904,130	—	3,904,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,388,441	1,492,946	574,075	3,455,463	448,666	3,904,130	—	3,904,130
セグメント利益	331,609	375,118	116,103	822,831	119,475	942,306	△805,401	136,905
セグメント資産	1,345,407	599,155	405,936	2,350,499	341,194	2,691,694	2,321,431	5,013,126

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験装置、計測器などが含まれております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△805,401千円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費などであります。

(2) セグメント資産の調整額2,321,431千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び本社建物、土地であります。

3 セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表計 上額 (注3)
	電源機器	表面処理装 置	電気溶接機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,424,417	2,485,430	656,053	4,565,901	323,352	4,889,254	—	4,889,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,424,417	2,485,430	656,053	4,565,901	323,352	4,889,254	—	4,889,254
セグメント利益	391,815	553,306	167,645	1,112,767	117,914	1,230,682	△994,877	235,804
セグメント資産	1,020,924	725,304	382,325	2,128,554	242,294	2,370,849	2,638,999	5,009,849

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験装置、計測器などが含まれております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△994,877千円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費などであり

ます。

(2) セグメント資産の調整額2,638,999千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び本社建物、土地であります。

3 セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,847.88円	3,049.95円
1株当たり当期純利益	235.01円	286.28円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益(千円)	181,609	221,207
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	181,609	221,207
普通株式の期中平均株式数(千株)	773	773

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

生産、受注及び販売の状況（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(1) 生産実績

当事業年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同期比（%）
電源機器	1,477,983	△12.7
表面処理装置	2,433,055	52.9
電気溶接機	611,668	△1.6
その他	344,424	△10.7
合計	4,867,131	13.4

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
電源機器	1,268,734	△12.4	847,992	△15.5
表面処理装置	1,818,020	△27.7	1,299,768	△33.9
電気溶接機	659,494	8.7	192,888	1.8
その他	405,274	42.4	234,726	53.6
合計	4,151,523	△14.5	2,575,375	△22.3

(3) 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同期比（%）
電源機器	1,424,417	2.6
表面処理装置	2,485,430	66.5
電気溶接機	656,053	14.3
その他	323,352	△27.9
合計	4,889,254	25.2